

# なかつがわ



令和3年 中津川市議会 12月定例会

市の花 サラサドウダン



令和4年1月5日 **中津川市消防出初式**  
小倉主税団長を先頭に分列行進



**消防出初式で勢揃いの中津川市消防団（女性団員）**

## 目次

議案	②
予算決算委員会報告	④
市民と議会の対話集会	⑥
特別委員会報告	⑧
一般質問	⑩
自動運転車の走行を想定した社会実験	⑭
編集後記他	⑭
議会だよりアンケート	⑮

### 回答方法



- アンケートはWEBでもご回答いただけます。詳細は、裏表紙をご覧ください。
- 回答期限は令和4年2月28日までのです。

## トピックス

- **市民と議会の対話集会（P6・7）**  
11月に開催した対話集会の概要を報告します。
- **自動運転車の走行想定社会実験（P14）**  
付知地区で自動運転技術の社会を見据えた人・物の輸送社会実験が行われました。
- **市議会だよりアンケート調査（P15・16）**  
市議会だよりアンケート調査票が裏表紙にあります。ご協力をお願いいたします。

12月定例会は、条例7件、その他9件、補正予算6件、合計22件の議案が上程され、初日（11月30日）3件、最終日（12月23日）19件を、原案とおり可決しました。

### 中津川市税条例の一部改正

（全会一致）

非課税限度額等における国外居住親族の取扱いの見直しや、セルフメダイケーション税制の延長など地方税法の一部改正に伴うもの、また、中津川市税条例には都市計画税に関する条文が規定されており、国の例示している市税条例（例）と構成が一致していないため、都市計画税の規定を削る条文整備を行なうなどの改正をするものです。

### 中津川市土地開発基金条例の廃止

（全会一致）

中津川市土地開発基金を財源として平成20年度以降土地の新規取得はなく、今後も取得見込みがないため、中津川市土地開発基金条例を廃止するものです。

### 中津川市都市計画税条例の制定

（全会一致）

中津川市税条例の規定の整理に伴い、中津川市都市計画税条例を制定するものです。

### 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に係る中津川市固定資産税の特例に関する条例の一部改正

（全会一致）

省令の一部改正に伴い、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済効果をもたらす地域経済をけん引する事業として承認された事業を行なう事業者が設置する施設について、3年間固定資産税免除の特例を受けられる施設の設置期限を延長するため、改正するものです。

### 中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部改正

（全会一致）

中津川市学校規模等適正化基本計画に基づき、下野小学校と福岡小学校及び高山小学校を統合し、令和5年4月1日から学校名、所在地を変更するものです。

### 中津川市認定こども園の設置等に関する条例の一部改正

（全会一致）

令和5年4月1日から幼保連携型認定こども園として「山口こども園」を新たに設置するため、改正するものです。

### 中津川市国民健康保険条例の一部改正

（全会一致）

出産育児一時金の額を「40万4千円」から「40万8千円」に4千円引き上げるなど、健康保険法施行令の一部改正等に伴い、改正するものです。

### 指定管理者の指定（全会一致）

施設名	指定先	指定期間
中津川市デイサービスセンターひだまり苑	医療法人 みらい（継続）	令和4年4月1日 ～令和7年3月31日
中津川市付知デイサービスセンター	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会 （継続）	
中津川市蛭川福祉センター ※1		
中津川市蛭川デイサービスセンター ※2		
中津川市蛭川ショートステイ事業所 ※3		
中津川市坂下交流促進施設（きりら坂下）※4	坂下商業開発協同組合（新規）	

### 市道路線の認定（全会一致）

路線名	起点
	終点
坂本298号線	中津川市駒場字西山1666番2933地先
	中津川市千旦林字坂本1427番4地先
坂本299号線	中津川市千旦林字坂本1447番4地先
	中津川市千旦林字坂本1467番17地先

### 市道路線の変更（全会一致）

路線名	前後の別	起点
		終点
西山～岩屋堂線	前	中津川市駒場字西山1666番地794地先
		中津川市千旦林字岩屋堂1616番141地先
	後	中津川市駒場字西山1666番地794地先
		中津川市千旦林字岩屋堂1616番121地先
中津532号線	前	中津川市手賀野字島崎81番4地先
		中津川市駒場字大道上225番1地先
	後	中津川市手賀野字島崎81番4地先
		中津川市駒場字大道上209番2地先

### 市道路線の廃止について（全会一致）

路線名	起点
	終点
中津371号線	中津川市手賀野字西沼274番2地先
	中津川市手賀野字西沼269番地先



▲中津川市蛭川福祉センター、蛭川デイサービスセンター  
蛭川ショートステイ事業所 ※1～3



▲中津川市坂下交流促進施設（きりら坂下）※4

# 令和3年度 12月補正予算等の概要 総額 54億5,844万円

## 編成方針

新型コロナウイルス感染症対策、緊急対応が必要な事業を中心に編成。

## 新型コロナウイルス感染症対策・・・合計 25億3,480万円

### 〔主な事業〕

- **ワクチン3回目接種のための体制整備** .....3億769万1千円  
接種費用、接種券の印刷、集団接種会場の運営等の整備
- **指定管理施設の維持経費** .....2,524万7千円  
指定管理者が管理するふれあい牧場などの維持経費の支払い
- **交通事業者等を支援** .....1,933万7千円  
緊急事態宣言等により影響を受けた交通事業者への支援
- **時短要請の協力事業者への協力金** .....2,755万円  
県からの営業時間短縮要請に協力した事業者への協力金
- **小中学校の感染症対策用品を購入** .....160万8千円  
国の補助金を活用し消毒スタンドなど感染症対策用の物品を購入
- **放課後児童クラブの感染症対策用品を購入** .....880万円  
国の補助金を活用し感染症対策用の物品購入や支援員手当分を補正
- **市民病院の薬品と診療材料を購入** .....1億3,100万円  
新型コロナウイルス感染症の検査のための薬品と診療材料を購入
- **住民税非課税世帯等に臨時特別給付金を給付** .....8億円  
様々な困難に直面した住民税非課税世帯と家計急変世帯に1世帯当たり10万円を給付
- **子育て世帯に臨時特別給付金を給付** .....11億3,956万4千円  
子育て世帯を支援するため、18歳以下の子どもがいる世帯に児童1人当たり10万円を給付



▲ふれあい牧場



▲明知鉄道



▲駅前と中心市街地



▲学童保育



▲子育て支援

## 緊急対応が必要な事業・・・合計 28億8,944万円

### 〔主な事業〕

- **土地開発基金の廃止に伴い土地を買い取り** .....12億6,640万2千円  
土地開発基金を廃止するため、土地開発公社の土地を中津川市が買い取る。
- **土地開発基金の廃止に伴い他の基金へ積立** .....16億円  
財政調整基金5億円、減債基金6億円、公共施設整備運営基金5億円
- **道の駅驫母合併浄化槽改修** .....393万8千円  
駐車場内にある合併浄化槽の蓋が経年劣化により破損したための改修工事
- **図書館の図書にICタグを貼付** .....594万8千円  
新図書館で自動貸出・返却を行なうため現蔵書18万冊のICタグ貼付・登録
- **前田青邨の絵画を購入** .....225万円  
前田青邨の貴重な作品3点を購入。楽翁(双幅)・川魚・竹取物語下巻4段
- **小学校・保育園の遊具を修繕** .....364万8千円  
遊具点検の結果、緊急修繕が必要とされた遊具の修繕  
小学校(西・落合・川上・蛭川) 保育園(坂下・付知・蛭川)
- **第二中学校の屋内消火栓の配管を改修** .....313万5千円  
第二中学校南棟の屋内消火栓の配管が漏水しているため改修



▲蛭川診療所



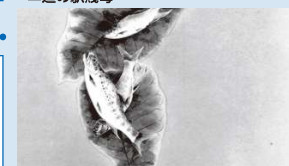
▲スマート農業 田植機



▲生体情報モニター ▲人工呼吸器



▲道の駅驫母



▲川魚(前田青邨)

補正予算の詳細はこちらから→



## 国、県補助金等を活用しての事業実施・・・合計 3,420万円

### 〔主な事業〕

- **診療所の歯科ユニットを更新** .....1,888万9千円  
加子母歯科・蛭川歯科の老朽化した歯科ユニットを更新
- **スマート農業技術導入に補助金を交付** .....488万9千円  
営農組織等に対する農業機械購入費を補助
- **市民病院の医療機器を購入** .....902万円  
人工呼吸器・患者監視装置(生体情報モニター)を各2台購入

## 11月7日 秋の中山道まつり・六斎市で太鼓の競演



▲山業水明太鼓保存会(坂本)  
(本町広場)



▲中津川太鼓保存会(中津)  
(本町中山道歴史資料館前)



▲安岐太鼓保存会(阿木)  
(本町白木屋前)

## 11月5~7日 菓子まつり



▲昨年はコロナ禍で中止になったが2年ぶりの開催でにぎわう菓子まつり

## 12月5日 六斎市



▲中津川のにゃかつがわ君(右)と応援にかけた付知のあまねん

## 12月12日 東濃歌舞伎大会



▲白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場 常盤座歌舞伎保存会公演

## 市民と議会の対話

令和2年度は新型コロナ感染症感染拡大防止の観点から開催を中止していた「市民と議会の対話集会」でしたが、今年度は11月にそれまでと形を変え市議会の各常任委員会が中心となって実施しました。各委員会の開催状況等を報告します。

### 総務企画委員会

テーマ	移住定住の現状と課題について
日時	令和3年11月20日(土) 13時30分～15時
場所	市役所5階 議会第一委員会室(オンライン懇談)
対象者名	市内に移住し定住された方
参加人数	11名
概要	市内に移住された方から、以下の3つの項目について話を聞き、意見交換をしました。 ①なぜ中津川市を選んだのか ②住んで良かったところ ③住んで不満なところ
一口コメント	オンラインによる対話集会は初めてでしたが、参加者の方の想いを直接聞けて良かったです。今後、オンラインでの対話集会を取り入れていくことを検討していく必要を感じました。



▲対話集会の様子(総務企画委員会)

### 文教民生委員会

テーマ	文化財の現状と課題について
日時	令和3年11月24日(水) 15時～16時30分
場所	福岡総合事務所2階 世代交流室
対象者名	文化財調査・整理愛護団体
参加人数	36名
概要	文教民生委員会として、中津川市の文化財の現状と課題をテーマに、執行部による説明や保存場所・施設など4か所の視察を行った後に、市民の文化財調査・整理愛護団体の方から、現状や課題について意見を聞きました。
一口コメント	各地域での文化財の現状を把握でき、市全体の課題が明らかになったと思います。今後は、課題を協議しまとめ、執行部への提言(申入れ)につなげていくこととしました。



▲対話集会の様子(文教民生委員会)

## 集会を開催しました

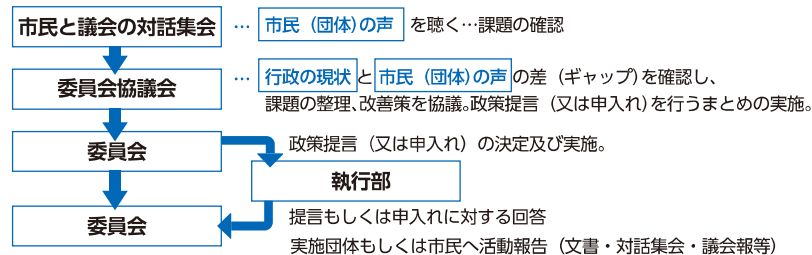
### 産業建設委員会

テーマ	観光の現状とアフターコロナに向けて
日時	令和3年11月19日(金) 15時～16時30分
場所	中津川市環境センター2階 会議室
対象者名	中津川市観光連絡協議会
参加人数	6名(各観光協会等の代表者)
概要	産業建設委員会では、新型コロナウイルスの影響により大きな打撃を受けた観光産業に注目し、コロナ禍での観光の現状並びにこれからの観光振興に向けた取組に対する課題及び解決策について、以下の項目について懇談の場を設けました。 ・コロナ禍での観光の現状 ・観光資源の掘り起こし、磨き上げの現状 ・情報発信の現状
一口コメント	各地域での観光に対する思いには、温度差を感じました。そこを踏まえ、今後の更なる観光振興に向け、産業建設委員会において、課題、改善策を整理し、行政への提言につなげていきたいと思います。



▲対話集会の様子(産業建設委員会)

### 令和3年度 常任委員会活動フロー(抜粋)



詳しい内容は、こちらから→



## 特別委員会報告

### ◆病院・医療等対策特別委員会

【中間報告】10月13日

#### ○中津川市公立病院機能に関する市長方針の報告がありました。

中津川市公立病院評価委員会から旧坂下病院の今後の方向性について、現在の建物を医療や介護の施設として有意義な利活用が望ましく、民間等に委ねるのが最良との提言を受け、市長から旧坂下病院の民営化を進める方針が報告されました。また、市民病院も民営化を進めるべきであるとの提言については、新病院建設に向けて「あり方検討委員会」を立ち上げ、その中で民営化についても検討するというものです。

旧坂下病院には、2法人から熱意ある問い合わせが来ていることも合わせて報告がありました。

#### ○主な質疑応答

旧坂下病院の民営化に向けて解決しなければならぬいくつかの課題とはどういうことを指しているのかの問いに対して、「施

設の通常年間維持経費の大幅縮小」「借地問題」「職員の継続雇用」「病床数」等が課題であるとの答弁でした。

民営化とは、丸ごと譲渡なのか、指定管理なのかの問いに対しては、これからの協議によるとのことでした。

今後、譲渡等の動きが出た場合は、その都度早く報告をいただきたいとの意見には、でき得る限り早く報告するとの答弁がありました。



▲坂下診療所・坂下老人保健施設

## 特別委員会報告

### ◆リニア中央新幹線対策特別委員会

【中間報告】11月8日

#### ○濃飛横断道三市一村議会委員会合同会議の報告

リニア中央新幹線開通後の地域振興と誘客を目的として、早期整備促進と連携強化を図るため、濃飛横断自動車道沿線の郡上市・下呂市・中津川市、東白川村の議会で組織する本会議が開催され、関係機関への要望(案)など4議案が承認されました。

#### ○中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議の報告

コロナ禍の中での開催であり、規模を縮小して行うことを承認し、南木曾町役場にて両市町委員会の活動状況とリニア中央新幹線事業の現状や関連事業について意見交換を行いました。

#### ○リニア工事に関わる2件の報告

・リニア中央新幹線瀬戸トンネル崩落事故



▲中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議の様子

について、事故の経過・JR東海の今後についての考え方・中津川市の見解の報告がありました。

・濃飛横断自動車道中津川工区で、岐阜県から5カ所の工事が発注されたことの報告がありました。

## 三ない運動

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！



有権者にも、政治家にも、  
守ってほしい3つのルール

### ■市議会の様子を映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧いただけます。



#### ●ライブ中継

本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

#### ●録画映像

録画映像を会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。パソコンの他、スマートフォン、タブレットでの視聴も可能です。

詳しくは、中津川市のホームページ「中津川市議会 映像配信」をご覧ください。

### ■市議会への直行使

市のホームページには、市民の皆様からの声をいただく「議会への直行使」があります。



# 一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 10 人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



## 農業の担い手について

宮嶋 寿明

問

農業の担い手は、産業構造の変化、高齢化とともに減少しております。

①農業者不足に対応するためには、ICT・ロボット技術等を活用したスマート農業の導入・普及が課題だと考えますが、市のお考えと、対応策について伺います。

②スマート農業導入に際しましては、大きなほ場の方がよりメリットがあると考えますが、今後のほ場整備について市のお考えを伺います。

答

①導入や普及については、中山間地域における農作業の効率化、省力化のため、今後も促進していきます。機械の性能向上による利用拡大が見込め、新機種情報や支援事業の提供を続けます。

②一度行ったほ場整備箇所の再整備を、現在各地域で実施しており、今後もこの事業を活用し、スマート農業を見据えた農地集約を促進していきます。

(農林部長)

## 行政運営について

牛田 敬一

問

市民サービスに直結する行政運営は、円滑な業務遂行が重要と考えます。

新火葬場の建設は、施設の性格上難しい面がありますが、市民が期待している施設です。

①新たな建設候補地は、苗木地区以外も視野に入れて建設する方針ですか。

答

①苗木地区において、令和4年夏頃までに候補地を1つに絞り込んでいきたいと考えています。

候補地が具体化できない場合には、苗木以外の地区も含めて検討することになると考えられます。

②現在、候補地をいくつかに絞り込みをしており、年明けから各候補地の実現可能性について、地元・関係者の方々と調整をさせていただきながら、候補地として具体化できるように進めてまいります。

(市民福祉部長)



## 気候危機を打開するために

鷹見 信義

問

気候危機と呼ぶべき非常事態が起こっています。2030年までに温室効果ガスの排出を45%削減し、50年までに実質ゼロにすることが必要です。気候危機打開の対策は政府、地方自治体を中心に全ての関係者の取り組みが必要です。

①家庭や事業活動における省エネルギー活動の概要と実施状況について伺います。

②公共施設への太陽光発電等の率先導入についての概要と状況を伺います。

答

①令和2年度に市は中津川市区長会連合会と連携して、全地区で地球温暖化対策の出席講座を実施しました。中津川市区長会連合会は、そこでの学びを活かし、地区ごとに省エネや省資源に関する取組目標を定めました。今後は市と区長会で具体的な取組を検討し、推進してまいります。

②令和2年度末時点で、学校など26施設に導入しています。

(環境水道部長)

## ひとり親世帯の支援について

田口 文数

問

母子世帯は12.3万2千世帯で父子世帯よりも6倍近く多くなっております。

①子ども達の学力は、家庭教師や塾に通っているかどうかで差が付きそうです。ひとり親世帯の子どもにも、ボランティアで学習支援や相談を行なうのはいかがですか。

②コロナ禍で、収入が減少した方は少なくありません。フードバンクなどの食料配布の支援を行なうのはいかがですか。

答

①他市でNPOや支援団体により実施されていることは把握しておりますが、今後は、ひとり親家庭相談のなかでニーズの把握に努めます。

②社会福祉協議会が窓口になり、小売店や市民の方から寄付された食料をもとにフードバンク事業として食料支援を実施しており、令和3年度は、11月までに60件の利用がありました。ひとり親家庭に限らず食料に困っている方には、社会福祉協議会の食料支援について対応しています。

(市民福祉部長)



## 教育施設適正配置計画について

粥川 茂和

問

教育施設の統合により、教育現場では多様性の垣根が外れ、子どもたちは校区の下にひとつになります。彼らが長じて地域に暮らせば、多様性の広域化が進み、合併当時の地域感に変化が生じます。

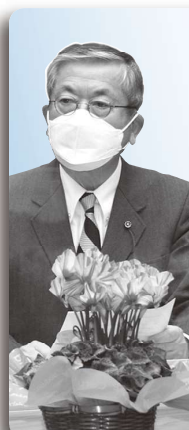
今後地域における統合協議が活発になると思いますが、協議の前提として、施設統合の延長線上には、総合事務所及び地域事務所統合の可能性があることを理解していただくべきではないでしょうか。

答

幼稚園・保育園や小学校の広域化は、将来の地域づくりの担い手である子どもたちの価値観形成にも影響を及ぼします。

また、人口減少により、今後も社会の仕組みや地域活動は変化していくと考えられることから、市においても教育施設にとまらず、総合事務所や地域事務所の在り方についての検討が必要になってくると考えます。大きな課題であり、検討に際しては地域の意見を聴きながら進めていきたいと思っております。

(定住推進部長)





**答** 子ども達が活動していくうえで大切なことは、よりよい指導者の確保と育成、そして地域での受け皿の整備と考えます。  
市スポーツ推進計画では「クラブ活動の適正な運営体制など検討」としており、子ども達の健全育成と、指導者のやりがい・いきがいくつくりとなるよう環境整備していきます。  
また、行政や団体、学校等が連携し、まずは中学校区の単位で意見交換を行いながら、組織の在り方、指導者の身分や謝金等の補償面を考えていきます。  
(文化スポーツ部長)

**答**

**問**

**中津川市の子どもの育む持続可能なスポーツ・文化活動施策について**

三浦 八郎

文部科学省による「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」では、部活動は「必ずしも教師が担う必要のない業務」に分類され、学校の働き方改革推進と同時に部活動改革の必要性が掲げられるようになりました。改革の方向性では「生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備」とありますが、どのような環境を整備していくのか伺います。



**答** 少子高齢化社会に入り労働力人口が減少する中で、多様な人材が活躍できる柔軟な働き方が求められています。当市においては、育児や介護との両立の面で、ワーカーサポートセンターでの子育てママさん就職支援をはじめ、テレワーク試験導入事業や、障がいを持つ高校生を対象とした企業説明会の開催などに取り組んでいます。引き続き誰もがやりがいをもって安心して働ける環境の実現をめざし、多様性のある働き方の推進について、関係機関等と連携し、取り組んでまいります。  
(商工観光部長)

**答**

**問**

**障がいをお持ちの方の雇用について**

糸魚川伸一

このコロナ禍はある側面から見れば、通勤を必要としないリモートワークや勤務時間のあり方など、新しい働き方をもたらしたと言えると思います。障がいをお持ちの方についてはもちろん、子育て世代の方など、多様性のある働き方の推進について、見解を伺います。



**答** ①安全でおいしい給食を引き続き提供していくため、給食センター方式ではなく自校調理方式を前提に、一部共同調理場方式を取り入れ、学校給食衛生管理基準を満たした給食調理場を整備していきたいです。  
②市内調理場の19施設のうち、ドライシステムを導入している施設は3施設です。  
③古い施設が多いため、地域の実情等に合わせ今後整備を検討していきます。  
(教育委員会事務局長)

**答**

**問**

**中津川市の学校給食について**

黒田 ころ

中津川市の学校給食は本当に美味しく温かいまま子どもたちの口に入る給食で、食物アレルギーの対応もしっかりしています。  
①センター化も含め、学校給食をどのようにとらえていますか。  
②市内にいくつの調理場がありそのうち床に水をまかないドライ方式は何カ所ですか。  
③旧式の調理場からドライ方式への変更は単なる改修では無理だと思えます。どんなタイミングでドライ化出来ますか。



**答** ①行政機関については、既存の他の市有施設への移転を検討しています。入居している団体等には、スムーズに移転できるようにすすめてまいります。  
②約6億円前後と見込んでいます。(総務部長)  
③利活用の検討は、リニアを活かすまちづくりの中核となる夢のある作業になると考えています。マイナス入札は土地活用の確度を高める観点で一つの手法として検討してまいりますと考えています。  
(市長)

**答**

**問**

**にぎわいプラザの今後について**

鷹見 憲二

にぎわいプラザの廃止に向けた考え方を伺います。  
①解体費用ははじめ、12の入居者の移転先はどのように考えていますか。  
②解体費用はどのくらいかかりますか。  
③中津川の玄関と言われる駅前には、リニア開通を見据え、まちのイメージを現す大切な場所です。マイナス入札も含めてにぎわいプラザの今後について見解を伺います。

市議会あれこれ

一般質問とは

一般質問をする議員は定められた期間内に議長あてにその要旨をあらかじめ文書で通告することとなっています。

緊急質問とは

緊急を要する事態が起きたとき、または客観的にやむを得ないと認められるときは、議員の申し出を受けて議長は会議にはかり、議会の同意を得たときは緊急質問をすることができます。

※「一問一答方式」は、議会改革の一環として、平成22年6月定例会より導入

	質問方式	質問時間	再質問時間	
一般質問	一括質問	全ての質問を最初から最後までおこなったのち、すべての答弁を受ける。	40分	10分 すべての答弁を受けたのち、再質問できる。
	一問一答	質問を1問ずつおこない、その都度答弁を受ける。	40分	40分の質問時間に含まれる。 個々の答弁を受けた都度、再質問できる。
緊急質問		10分		



**答** 年齢に関係なく聴覚障害で6級以上の障害者手帳の交付を受けている方には、補聴器購入費の助成を受ける制度があります。  
市としては、手帳の交付対象とならない程度難聴の高齢者の補聴器購入助成について、新たな補助制度の創設を県に要望しているところです。  
市単独で高齢者の方に一律の助成を行うことは、現在のところ考えておりません。  
(市民福祉部長)

**答**

**問**

**加齢性難聴の補聴器購入の助成について**

木下 律子

70歳を超えると約半数が難聴になり、日本では約1千万人と推計されます。欧米では医療として公的補助が行われ、補聴器保有率は40%、日本は14.4%です。片耳で3万、30万円で保険適用外で全額自費です。認知症予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながります。補聴器は早く使用することが必要と専門家も指摘しています。加齢性難聴の補聴器購入への助成について見解を伺います。

## 市議会だよりアンケートご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「市議会だよりなかつがわ」は、平成26年4月に施行した議会基本条例に基づき、開かれた議会を目指し、市民の皆さまに議会の活動などをお知らせすることを目的に、同年8月1日号を創刊号として本会議ごとに年4回発行してきました。

令和3年11月には第30号を記念し、全ページオールカラー化して発行しました。

これからも市民の皆さまにわかりやすく読んでいただける市議会だよりを目指すため、今回の第31号でアンケートとして市民の皆さまに紙面についてのご意見をいただくことにしました。

裏表紙が「市議会だより」アンケート調査票になっています。また、同じ内容でパソコンやスマートフォンからWEBアンケートフォームによりご回答いただけます。どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

以下回答方法、回答期限をご案内いたします。

### 回答方法

1、WEB アンケートフォームを利用し、またはイの方法でご回答いただけます。

ア 右記のQRコードを読み取りアクセスする。

イ 中津川市ホームページ内中津川市議会新着情報の「市議会だよりアンケート」へアクセスする。



2、上記1のほか、このページを切り取り、裏表紙の市議会だよりアンケート調査票に記入し、次の①～③の方法によりご回答いただけます。

- ① FAX で送信する。：FAX 番号 0573-66-9754
- ② お近くの市議会議員に手渡す。
- ③ 市役所本庁舎受付、地域事務所、総合事務所のアンケート回収箱へ投函する。

### 回答期限

令和4年2月28日(月)まで

## 「自動運転車の走行を想定した社会実験」を付知地区で実施

次世代モビリティ（移動手段）等を活用した住みやすい地域を実現しようと、中津川市は東京大学と昨年共同研究を実施しています。今年度は、自動運転車両が走行する「未来の社会」を想定した実験を、12月9日から15日までの7日間、付知地区で実施しました。

今回の実験では、次の3つを課題として、利用者のニーズや時間帯等に合わせ、実験内容を変えて車両を走行させました。

- ・利用者の予約に応じて走る「人・物どこでも輸送」
- ・運行ルートを走る「巡回便」
- ・移動して販売する「移動販売」（3日間）

「人・物どこでも輸送」の実験では、付知町まちづくり協議会の協力を得て、専用のアプリなどを活用し、予約対応の実験も行いました。

この実験は、町内外の170名の皆さまに協力をいただき、また実験後のアンケート調査にも回答いただきました。

リニア等の広域交通の整備が進む中、人・物の輸送サービスの充実、住みやすい地域の実現を目指し、新たな地域の可能性が創出されることを願っています。



▲人・物どこでも輸送の様子（野菜集荷）



▲巡回便の様子



▲移動販売の様子

### 議会開催状況 10月2日、12月23日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(1回)
文教民生委員会	(1回)
産業建設委員会	(1回)
産業建設委員会	(1回)
予算決算委員会	(3回)
議案運営委員会	(5回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(1回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

2月28日(月)	10時 本会議(初日)
3月9日(水)	10時 一般質問
3月10日(木)	10時 一般質問
3月14日(月)	10時 産業建設委員会
3月15日(火)	10時 総務企画委員会
3月16日(水)	10時 文教民生委員会
3月17日(木)	10時 予算決算委員会
3月18日(金)	10時 予算決算委員会
3月22日(火)	10時 予算決算委員会
3月23日(水)	10時 予算決算委員会
3月29日(火)	10時 本会議(最終日)

### 令和4年3月定例会の日程

### 編集後記

1月5日、2年ぶりに消防団の分列行進がレジストロ通りを進みました。今まで当たり前前に開催されてきた行事が中止や延期になる事が多かった昨年ですが、このところ少しづつ復活しています。しかし「新しい生活様式」と共に暮らす日々がまだ続いています。

議会もオンラインでの議員連絡協議会開催を試行的に継続しています。2年ぶりに再開した「市民との対話集会」は常任委員会との開催としました。中でも総務企画委員会は初めてオンラインで開催されました。このような開催方式を取り入れたのは「新型コロナウイルス」感染症予防対策の一環ですが、新しい試みへのきっかけともなりました。



▲市の木 こうやまき



FAX (0573)66-9754(回答期限は令和4年2月28日まで)

## 「市議会だより」アンケート調査票

◎以下の質問について、あてはまる項目に○をつけてください。

**【1】あなたの性別を教えてください。**

1. 男性 2. 女性 3. 未回答

**【2】あなたの年代を教えてください。**

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代  
8. 80代以上 9. 未回答

**【3】お住いの地域を教えてください。**

1. 中津西 2. 中津南 3. 中津東 4. 苗木 5. 坂本 6. 落合 7. 阿木 8. 神坂  
9. 山口 10. 坂下 11. 川上 12. 加子母 13. 付知 14. 福岡 15. 蛭川  
16. その他( )

**【4】これまでに「市議会だよりなかつがわ」を読んだことがありますか。**

1. 毎号読んでいる 2. 時々読んでいる 3. 今回初めて読む 4. 読んだことがない

**【5】市議会だよりの印象を教えてください。(複数回答可)**

1. 役に立つ 2. 読みやすい 3. 親しみやすい 4. 発行が楽しみ 5. 堅苦しい  
6. 難しい 7. 読む気がしない 8. その他( )

**【6】議会情報の広報の手段として、どのような方法が良いと思うか教えてください。(複数回答可)**

1. 市議会だより 2. 市議会ホームページ 3. 議会放映(放送) 4. SNS等  
5. 小集会での市議会議員からの説明 6. その他( )

**【7】広報紙リニューアルを考えています。どのような改善を求めますか。(複数回答可)**

1. 文字を大きくする 2. 情報量を多くする 3. 情報量を少なくする  
4. 写真掲載を多くする 5. 写真掲載を少なくする 6. 全ページカラー印刷にする  
7. 現在のままでよい 8. その他( )

**【8】内容・構成・レイアウト・表紙などについてどのような改善を求めますか。**

(例:表・グラフ・図式を増やして欲しい。文章はよこ(たて)書きにして欲しい など)

**回答方法**



●WEBアンケートフォームよりご回答いただけます。

左記①QRコードを読み取り、または中津川市ホームページ内中津川市議会新着情報の「市議会だよりアンケート」へアクセスする。

●WEBでの回答以外は以下の方法でもご回答いただけます。

- ①FAX送信する。(0573-66-9754) ②お近くの市議会議員に手渡す。  
③市役所、地域事務所、総合事務所のアンケート回収箱へ投函する。